

週刊市議会報告

2007年1月15日 No984
 <発行>
 日本共産党浦安市議団
 市役所内控入室
 (議会棟1階) ☎(350)1243



力を合わせて
 住みよい浦安市へ



市議会議員
 元木美奈子

(355) 8526
 入船4-37-14
 minamotonton
 @jcom.home.ne.jp



市議会議員
 森野卓郎

(350) 4513
 堀江4-8-1-230
 morino@lake.dti.ne.jp



市議会議員
 井原めぐみ

(353) 4730
 東野2-8-13
 i_megumi
 @d8.dion.ne.jp

旧江戸川護岸

舞浜前面がこの春 市民に開放されます



開放にむけて工事が進む舞浜地区前面護岸(07年1月)

早期市民開放を求めてきました。平成17年秋に堀江橋のたもとが開放され、一部暫定開放されました。この一部暫定開放の際、ゴミが散乱し、富士見自治会に対して県から一部開放についてお知らせしていたにもかかわらず、「立ち入り禁止」の札がはりめぐらされていました。日本共産党は県と市の担当課にこの状況を伝え、いずれもすぐに撤去されまし

一昨年十月、暫定開放の入口に張られていた立ち入り禁止札と、奥にはゴミの山



昨年秋一部開放

「旧江戸川護岸を早く市民に開放してほしい」との声をアンケートなどでお寄せいただいています。日本共産党は議会できりかえしとりあげ、また河川管理者の千葉県にも要請を重ねてきました。現在、県による市民開放に向けた護岸工事がすすまられています。昨年9月議会で平成18年度末までに工事を完成し、来春には市民開放の予定であることが明らかになりました。日本共産党は、耐震補強工事全体の前倒しを県に求めること、市民の声を聞くことも求めました。

開放は来春の予定 街路樹などは市が整備

日本共産党が早期の市民開放と、護岸の植樹や照明の設置など遊歩道としての整備についてたまたしたのに対し、古賀典道建設部長は「今年度末に工事を完成し、できれば来春(07年)には市民の皆様には開放できる予定」答弁しました。また「護岸の修景整備につきました。今後解放後の利用状況や地元自治会の意見を聞きながら、必要に応じて施設整備について、市としても協力してまいります」と、市の独自の施設整備上乗せもすることを明らかにしました。さらに「どのような植樹、ライトアップがいいのかについてアンケートなどで広く市民要望を聞くこと」を求めたのに対し、「今後多くの市民による意見をお聞

「あけぼの歩道橋の改善を求める請願」 保守系会派、公明党などが否決!

「自転車がぶつかりそうで怖い」「なんとかしてほしい」との声を集め、住みよいまちづくりの会・まちかどウォッチャーから提出された「あけぼの歩道橋の早急な改善を求める請願」が昨年9月議会では「継続」にされ、12月議会では5対13で否決されました。実際に歩道橋を通っている方から多くのご要望と共に短期間に332名の署名も寄せられました。日本共産党は会のみなさんと署名行動にも参加し、請願採択を強く求めました。

<賛成> 日本共産党(元木美奈子、森野卓郎、井原めぐみ)
 無会派(空岡信耶、広瀬明子)

<反対> 政新クラブ(平野芳子、岡本善徳、内田悦嗣) 公明党(金子喜一、高津和夫、秋葉要) 清和会(醍醐誠一、深作勇、辻田明) 無会派(山崎次雄、杉浦哲、田所由香、石井清)



日本共産党の新人
みせ 麻里

市民の願いを否決する議会、本市に悔しい思いで傍聴しました。市民の声がまっすぐ通る議会へ、全力でがんばります。

市民に親しめる空間に

平成17年12月議会では健康増進の施策である「花いっぱいみみなで育む健康づくり運動」と開放された護岸管理を連携させて市民が楽しめる空間としていくことも提案。「旧江戸川の市民開放にあたっては、市民の健康づくりをはじめ市民の要望を的確にとらえて施設整備や管理などについて検討していく必要がある」と中村健理事の答弁がありました。

耐震補強の前倒し県に要請する 建設部長

旧江戸川の県の耐震補強工事は、河口から堀江ドックまでは平成18年度末までに概ね完成、堀江ドックから新中川合流付近までを平成17年度から工事着手、上流は平成36年度までの予定となっています。日本共産党が計画の前倒しを県に要請するように求めたのに対し、建設部長は「浦安市民の生命、財産にかかわる大事なことでありまことに、今後引き続き早急に整備していただければ」と答弁しました。